

はしご

2025. 9. 25

はしごするという言葉がある。同じようなお店や施設を続けざまにわたり歩くことである。カレーのお店をはしごしたことはない。お寿司屋さんのはしごもない。珈琲店もない。唯一あるのは、ラーメン店である。

喜多方に行く。ラーメンを食べる。この一杯にかける。満足する。だが、まだお腹には入る。せっかく来たのだからと、“はしご”の文字が浮かぶ。さすがに、しょうゆを続けるのは気乗りがしない。そこで、みその出番となる。二軒目は、いつも同じみそのお店に行っていた。

いつだったか、禁じ手というか邪道というか、変則的なはしごをしたことがある。喜多方に塩が美味しいお店がある。超人気店である。実は、このお店はしょうゆも十分美味しい。しょうゆも食べたいのだが、葛藤の末、どうしても塩にしてしまう。

あるときチャレンジしたくなった。「すいません。塩ラーメンを食べ終わる頃に、しょうゆラーメンを持ってきていただけますか」すると、店員さんは驚きもせずに、注文をメモし戻っていった。もしや、同じようなオーダーをするお客さんが他にもいるのだろうか。

塩ラーメンを食べ終え、間髪入れずに、しょうゆラーメンへと移行した。どちらも美味しかった。その満足感といたら。お店は移動していないため、はしごとはいわないのかもしれない。だが、自分の中では、ラーメンのはしごである。

このお店は、有名店であるため、もはや食べるのはむずかしくなっている。そこで、このお店で修行した方がやっているお店に行っている。メニューもほとんど変わらない。うれしいのは、修行先の味を忠実に守ろうとしている姿勢である。

こちらのお店でも、塩ラーメンからしょうゆラーメンへのはしごをしたくなってくる。だが、まだ実行に移してはいない。先日は、塩への欲望を抑え込み、しょうゆラーメンをオーダーした。やっぱり美味しかった。今度は我慢できるかどうかわからない。禁じ手であるはしごをやってしまいそうである。

はしごというのは、不思議である。やらないほうがよいことはわかっている。だが、やりたくなってくる。やってはいけないと自分にブレーキをかければかけるほど、その反動が大きい。はしごをしたとしても、多少の罪悪感はあるが、満足感のほうが上回る。だからといって、しょっちゅうやろうとは思わない。やはり、自分の中では、禁じ手にしておきたい。塩からしょうゆ、そしてみそというスペシャルなはしごも考えられる。その期待に応えてくれるお店が現れたらどうしようか。逡巡するとは思いますが、一度はチャレンジしてみたい。